

東邦大学医療センター佐倉病院小児科専攻研修プログラム

佐倉・選択専攻科目

臨床検査部（2～6ヶ月）

1 目的と特徴G I O

目的：病態を生化学、分子生物学的に充分把握することで、より深い適切な診断と病態分析ができ、総合臨床能力がアップした臨床医を育てる。

特徴：生体の代謝動態とその異常を、臨床検査として確立された生化学臨床検査、免疫学的検査、遺伝子検査実施を通して原理を学び、検査値の有用性と限界を学んでもらうとともに、将来、より深い臨床と新たな病態の発見を目指すところに特徴がある。

2 プログラムの管理運営体制

毎年3月、9月にプログラム編成会議を開き、順次改定する。

3 教育課程

1) 期間

選択専攻での研修期間は2～6ヶ月である。

2) 研修内容、到達目標

- (1) 生化学検査、免疫学的検査、細菌学的検査、検尿、検便まで、基本的検査手技の原理と実施法を学ぶ。
- (2) 検査値異常を総合的に捉え、病名、病態が想定できるようになる。
- (3) 研究テーマを遂行し、研究発表と行う。

3) 研修医の勤務時間

臨床研修医服務規程による。

4 研修医評価

指導医が、基本的手技と診断にいたる経路に関して、総括的に評価を行う。

5 資料の請求先

〒256-8741 佐倉市下志津 564-1

東邦大学医療センター佐倉病院臨床検査部

チェックリスト

- 1) 各種生化学検査項目測定法、免疫学的検査の原理と方法、結果解釈
- 2) 遺伝子解析の原理と方法、結果解釈
- 3) 測定異常値への対応と原因検索の仕方
- 4) 代表的疾患の異常値の把握と対応の仕方
- 5) 研究発表を行う